

御協力ありがとうございました！

今年度の登校も残すところ、あと2日になりました。6年生は既に卒業し、5年生以下の子供たちが学年納めの活動を行っています。

今年度を振り返れば、コロナ禍に始まり、コロナ禍で終わった一年でした。朝の検温やマスクを着けて過ごすことが日常になり、給食も一方向を向いておしゃべりせずに食べなくてはいけなくなりました。4月の後半から5月にかけては、臨時休業もありました。そのため、初めて、夏休み期間中に通常の授業をしました。

前年まではできたのに、できなくなった学習活動がたくさんありました。また、感染者が増えた時期は、スポーツの練習や大会、発表会等が自粛され、我慢を強いられた人も多かったことでしょう。そして、卒業式も参加人数を制限して実施しました。

このような窮屈な学校生活でしたが、子供たちは、新型コロナウイルス感染症のことを理解し、素直に従い、その上で、一生懸命学習に取り組んでいました。

保護者の皆さまにも、感染防止対策をとっていただいたおかげで、一人の感染者もなく、令和2年度が終わりそうです。様々な制約や制限に対する御理解と御協力をいただき、心より感謝いたします。

ありがとうございました。



立派に卒業！ 第14回卒業証書授与式（3月18日）

立ち姿・座り方で魅せようと取り組んだ卒業証書授与。しっかりと自分の思いを言葉に乗せた「別れの言葉」。保護者や教職員に感動を届けた「旅立ちの日に」の合唱。卒業生はどれも全力で取り組み、「自分たちで作る卒業式」ができました。その中から、卒業生の成長とこれまで支えていた方々への感謝の気持ちもうかがい知ることができました。春の陽気に包まれ、何もかもが素晴らしい卒業式になりました。



校長式辞では、子供たちのひたむきな努力を称え、次のように話しました。その一部を掲載します。

（前略）

卒業生の皆さんはこの六年間、よく学び、よく遊び、心も体も大きく成長しました。特にこの一年は、1組は英雄、2組は一流、3組は伝説を目指して、がんばっていました。

4月は新1年生を迎え、最高学年として、張り切っていたと思いますが、コロナ禍により、歓迎集会や遠足をはじめ、様々な活躍の場が流れてしまいました。しかし、朝早くから1年生の教室を訪れ、自分のパートナーのお世話をしたり、昼休みに一緒に遊んであげたりする姿に、さりげないやさしさとリーダーシップの片鱗を見ることができました。

2学期の運動会。係で見せてくれた責任感溢れる仕事ぶりは素晴らしかったです。そして、なんといっても圧巻はソーランの踊りです。全力を出し切って踊る姿に魂を揺さぶられました。11月になってやっとできた修学旅行。しかし、バスの中でもマスクを着け、会話したり歌ったりできませんでした。「もし高熱が出たら、そこで旅行は中

断」という話もしていました。いろんな我慢をさせてしまい、不憫に思っていました。最初の見学地の海きららに後にする時、ある男子が「ああ楽しかった。これでもう帰ると言われても僕は満足」とつぶやいたのを聞いて、なんて健気な子たちなのだろうと思いました。

3学期は、「卒業プロジェクト」に進んで取り組み、家族への感謝、地域や学び舎への感謝の気持ちを表すために、作品や道具づくり、奉仕活動をしてきました。また、1年生には、手作りの絵本を贈るなど、学校のリーダーとしての力を十二分に発揮しました。これから、皆さんの姿を手本にして、在校生もきっとあとを引き継いでくれることでしょう。「君たちは伸びる」が本校のスローガンですが、コロナ禍にあっても、それをものともせず、様々な面で伸びることができました。

10月の教育週間の始まりの日、私は「人を笑顔にする算数、思いやり算」の話をしました。覚えていますか？
+は助け合う、-は引き受ける、×は声をかける、÷は分け合うという話でした。その話に付け加えて、最後に卒業生の皆さんへ贈りたい言葉があります。それは、イラストレーターであり、詩人でもあるナカムラミツルさんの「人生はかけ算だ。どんなにチャンスがあっても君がゼロなら意味がない。」という言葉です。

中学生になると、同級生の人数も増え、教科ごとに先生が替わり、たくさんの人との関わる中で、勉強にスポーツに、今よりもっとチャレンジする機会が増えると思います。

2×2 は4、 4×4 は16、 16×16 は256と、中学校時代はまさにかけ算のように友達の輪が広がり、知識が増え、視野や経験も何倍、何十倍も広がっていきます。

でも、君がゼロなら意味がない。 2×0 は0、 4×0 も0、 16×0 も0です。どんなに恵まれた環境が用意されても、自分自身がやろうと思わなければ何も始まりません。行動を起こさなければ、何も起こらないのです。ですから皆さんには、これから失敗を恐れず、投げ出さず、果敢にチャレンジしてほしいと思います。

君たちは必ず伸びます！ (後略)

交通安全啓発の壁画が完成！



テレビや新聞の報道で御存知の方もいらっしゃるでしょうが、本校6年生が、運動場東側の擁壁に交通安全啓発の壁画を描きました。これは、諫早市交通安全協会の事業として、古くなった壁面の文字を塗り直すにあたり、本校児童の絵を入れさせていただいたものです。作業は2月下旬から始まり、3月3日に完成しました。6年生は、自分たちが小学校を巣立っていくことから、羽ばたく

鳥を各自がデザインし、下絵から色塗りまで任せていただきました。おかげで、後々に残る良い卒業記念となりました。



受賞おめでとう！～浜教育文化賞・栗林スポーツ賞～

毎年、市の文化やスポーツに大きな功績を残した団体や個人に贈られる2つの賞に、本校から3名の児童が受賞しました。諫早文化会館で開催される予定だった表彰式は、残念ながらコロナ禍で中止となったので、校内で表彰しました。

○浜教育文化賞

5年 芝岡 優吾さん 長崎県小・中学校児童生徒美術作品展
「こども県展」知事賞

○栗林スポーツ賞

6年 平田真太郎さん 諫早市小・中学生水泳競技大会
5・6年25m平泳ぎ 優勝(大会新記録)
4年 小田 愛留さん 諫早市小・中学生水泳競技大会
3・4年100m背泳ぎ 優勝(大会新記録)



芝岡優吾さん